ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.								

シートNO.

ボーリング名	大町橋B-1（左岸）	調査位置				北　緯	36 ° 19 ’ 07.6000 ”
発 注 機 関	栃木県足利土木事務所　河川砂防部		調査期間	2009-01-26 ～ 2009-01-28		東　経	139 ° 25 ’ 29.3000 ”
調 査 業 者 名		主任技師	現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者	ボーリング責任者	
孔 口 標 高	37.21 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °
総 掘 進 長	17.40 m	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具		
			エンジン		ポ ン プ		

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	36.21	1.00	1.00		盛土(砂礫)(BS)	褐	中ぐらい		0～0.7m間はφ10～100mmの岩砕石からなる 0.7m以深は粘土分が多く混じる		
1	35.41	0.80	1.80		砂質シルト(MS)	暗灰		軟らかい	含水量が中位で粘性は小さい 細砂,腐植物が混じる		
2	34.51	0.90	2.70		シルト質細砂(FSM)	暗灰	緩い		粒径均一な砂を呈す		01/26 2.10
3	30.91	3.60	6.30		砂礫(GS)	暗灰	中ぐらい		φ10～50mmの円・亜円礫が主体である φ100～200mm(コア長L=30～70mmの3倍程度として推定)の玉石が点在 礫間は粗砂により充填され細粒分の混入は少ない 5.8m付近より砂分が多い 全体に崩壊し易い		
7	29.71	1.20	7.50		粘土質細砂(FSC)	褐	緩い		粒径均一な砂である 下部は粘土分が多く混じる		
8	25.51	4.20	11.70		砂礫(GS)	褐	密な		φ10～50mmの円・亜円礫が主体である φ100～200mm(コア長L=30～70mmの3倍程度として推定)の玉石が点在 礫間は粗砂により充填され細粒分の混入は少ない 7.8m付近若干の逃水あり φ100～150mm程度の玉石が多く混じる		
12	25.31	0.20	11.90		礫混じり粘土(CH-G)	淡褐		中位	含水量がやや多く粘性が大きい φ2～20mmの礫が混じる		
13	23.91	1.40	13.30		粘土混じり砂礫(GS-C)	褐	非常に密な		φ10～50mmの円・亜円礫が主体 φ100～200mm(コア長L=30～70mmの3倍程度として推定)の玉石が点在 12.6m付近に粘土の薄層を挟む		
14	23.41	0.50	13.80		礫混じり細砂(FS-G)	褐	中ぐらい		粒径不揃いな砂を呈す φ5～20mmの円・亜円礫を点在		
15					粘土混じり砂礫(GS-C)	褐	非常に密な		φ10～50mmの円・亜円礫が主体である φ100～200mm(コア長L=30～70mmの3倍程度として推定)の玉石が点在 礫間は粗砂により充填され粘土分を多く混入する 14.8～15.4m間砂分が非常に多い 所どころに粘土の薄層(5cm内外)を挟む 不規則に逃水する		
16											

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1 / 15	1	1	3 / 35	3
1.50					
2.15	1 / 15	1 / 15		2 / 30	2
2.45					
3.15	10	7	5	22 / 30	22
3.45					
4.15	11	12	10	33 / 30	33
4.45					
5.15	9	13	11	33 / 30	33
5.45					
6.15	10	7	3	20 / 30	20
6.45					
7.15	6	6	7	19 / 30	19
7.45					
8.15	15	14	15	44 / 30	44
8.45					
9.15	24	22	4 / 3	50 / 23	>50
9.38					
10.15	23	23	4 / 1	50 / 21	>50
10.36					
11.15	13	12	19	44 / 30	44
11.45					
12.15	24	19	7 / 4	50 / 24	>50
12.39					
13.15	12	12	7	31 / 30	31
13.45					
14.15	35	15 / 4		50 / 14	>50
14.29					
15.15	14	13	23 / 9	50 / 29	>50
15.44					
16.15	23	17	10 / 5	50 / 25	>50
16.40					

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						01/26
						01/27

17	19.81	3.60	17.40		粘土混じり砂礫(GS-C)	褐	非常に密な		φ10～50mmの円・亜円礫が主体である φ100～200mm(コア長L=30～70mmの3倍程度として推定)の玉石が点在 礫間は粗砂により充填され粘土分を多く混入する 14.8～15.4m間砂分が非常に多い所どころに粘土の薄層(5cm内外)を挟む 不規則に逃水する			16.15 16.40	23	17	10/5	50/25	>50														
												17.15 17.40	16	19	17/5	52/25	>50													01/28